

民有林支援の実施について【米原市：伊吹山災害箇所における現地調査】



林野庁
近畿中国森林管理局

滋賀県米原市伊吹山では令和5年7月および令和6年7月の集中豪雨により、南側斜面の土砂が広範囲に流出する被害が発生し、米原市が南側斜面の山頂付近において、伏工、筋工等を進めています。このたび米原市から、今後の山腹斜面復旧対策について技術的支援の要請があったため、米原市、滋賀森林管理署、近畿中国森林管理局により合同で現地調査を実施しました。（令和7年7月1日～2日）



滋賀県米原市伊吹山



伊吹山被災状況(R6.9時点)



ヤシ繊維ネット伏工(米原市施工)



ドローン空撮によるオルソ画像作成



米原市との打合せ状況



米原市との現地調査



ドローン空撮による現地調査

【今後の対策】

- 被災の原因としてシカの食害が明確であるため、シカの捕獲を継続して行う。
- 土砂の動き、洗堀等が拡大する恐れのある箇所については基礎工として土留工の設置、軽度の雨裂や表土の動きがみられる箇所には筋工を施工することが有効。あまり高くせず、丸太筋工であれば1本程度の高さとし、また、現地発生材の石礫の活用を検討。
- 伏工については、現地において植生の発生が盛んであることから無種子のもので良いと考えられる等。